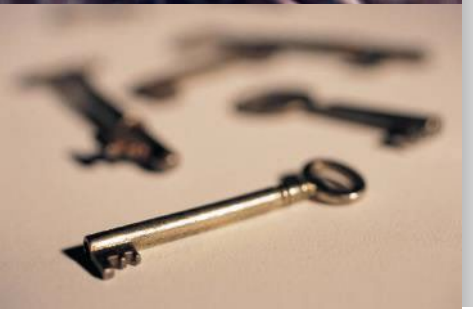
FSS ® File Security System

LAUREL INTELLIGENT SYSTEMS

FSS基本パッケージ Ver.10.2 マイナー バージョンアップ 概要について



- OS対応状況 … P. 2
- バージョンアップ方針 … P. 5
- 追加･更新された主な機能の紹介 … P. 7
  - 追加･更新機能紹介
- 販売終了製品について … P. 15

株式会社 ローレル インテリジェント システムズ

1.対応OSについて①
クライアントOSの対応状況

Windows 11 バージョン 23H2 対応

Windows 11 Build 22631 Ver.23H2 に 正式対応しました。

【 ○：対応 / ×：非対応】

FSS製品のOS対応表	10 (22H2)	11 (22H2～23H2)	備　　考
FSS 基本パッケージ Ver.10.2 (Standard/Plus)	○	○	FSS基本パッケージ Ver.10.2より Windows 11 (23H2) 正式対応 ※RT、Mobile、Embedded、IoT、Sモード、SE、ARM版は除く
FSS 発行管理パッケージ (FSS Director/FSS Issue Manager)	○	○	新発行管理ソフトウェア「FSS Issue Manager」をご使用になる場合には、クライアントPC側の「FSS基本パッケージ」はVer.10.0以上の環境でご使用ください。

（2023/12/20 現在）

※　マイクロソフト製品のサポートライフサイクルに合わせて、各OS向けFSSのサポートも終了させて頂いております。
現在はMicrosoft Windows 8.1, Windows 10 バージョン21H2以下(※1) のサポートが終了しています。
詳細は、「Microsoft ライフサイクル ポリシー」をご確認ください。

※　FSS基本パッケージ/Plusのサポート対応は、原則 **Ver.8.0**以降 (メジャーバージョン 2世代前まで)とさせて頂きます。

※　オプション製品につきましては、販売終了から3年間サポート(問い合わせ)対象となります。

※） Enterprise 及び LTSB/LTSC は、除きます。

1.対応OSについて②
サーバーOSの対応状況

Windows Server OS 対応

Windows Server OSの対応状況

【 ○：対応 / ×：非対応】

FSS製品のServer OS対応表	Windows Server 2016 (※1)	Windows Server 2019 (※1)	Windows Server 2022 (※1)	備　　考
FSS 基本パッケージ Ver.9.1 (Standard/Plus)	○	○	×	
FSS 基本パッケージ Ver.10.0 (Standard/Plus)	○	○	×	
FSS 基本パッケージ Ver.10.1 (Standard/Plus)	○	○	○	
FSS 基本パッケージ **Ver.10.2** (Standard/Plus)	○	○	○	Microsoft Windows Server 2012/2012R2は、非サポートになります。

※1） 対象エディション ： Standard, Datacenter 原則としてデスクトップエクスペリエンスが有効かつ単一の対話ログオンである必要があります。

※ マイクロソフト製品のサポートライフサイクルに合わせて、各OS向けFSSのサポートも終了させて頂いております。
現在はMicrosoft Windows Server 2012/2012 R2が終了しています。

※ サーバーOS対応は、FSS基本パッケージ(Plus含む)のみで、オプションソフト(SmartCipher for Fileserverを除く)は**非対応**となっております。

※ ファイル操作ログ等FSS基本パッケージ機能の一部につきましては、**マルチユーザー環境非対応**となっております。

※ Windowsのセキュリティポリシーやそれらに準ずる他社製品とFSSのポリシーが重複した場合、予期せぬ動作をする場合があります。
設定を行う場合には、各ポリシーを確認してから設定を行ってください。

オプション製品対応状況について

FSS基本パッケージ以外のオプション製品のOS対応状況について

【○：対応 / △：一部制限有 / ×：非対応】

No.	FSSオプションソフトウェア等	Windows 10 (21H2～22H2)		Windows 11 (21H2～23H2)	Windows Server OS (※1)
		32bit	64bit	64bit	64bit
1	FSS Auditor	○	○	○	△
2	FSS SmartShredder	○	○	○	○
3	FSS RD-Filter	○	○	○	×
4	FSS SmartLogon RD	○	○	○	×
5	FSS SmartLogon AP	○	○	○	○ (Clientのみ)
6	FSS SmartLogon MFVA	○	○	○	×
7	FSS SmartLogon HFVA	○	○	○	×
8	FSS SmartLogon iFace	○	○	○	×
9	FSS SmartLogon TFPA	○	○	○	×
10	FSS AppLogon	○	○	○	○
11	FSS SmartCipher for FileServer	○	○	○	○
12	FSS Overtime Viewer	○	○	○	○
13	FSS LogonPermit	○	○	○	×
14	FSS LogonAnalyzer	○	○	○	×
15	FSS デバイス制限F	○	○	○	×

※1 Windows Server OSの内容については、前項「Windows Server OS 対応」を参照ください。

(2023/12/20 現在)

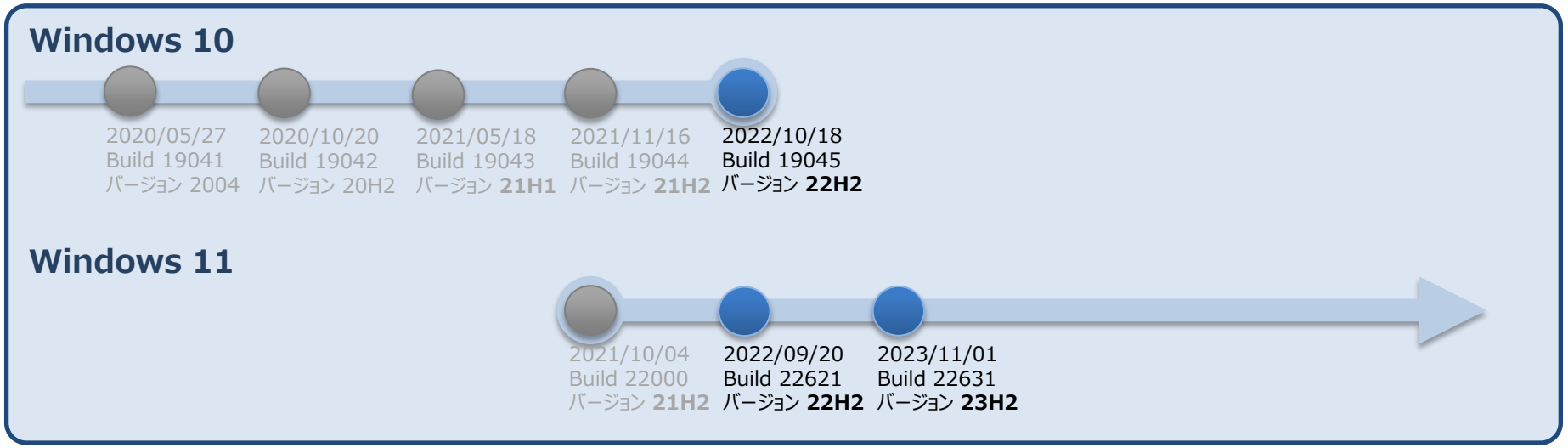
バージョンアップ方針

（ Windows 10/11 対応について）

2.バージョンアップについて
FSS基本パッケージ Ver.9.0以降のリリース方針について

Windows10/11に対する FSSバージョンアップの方針
FSS基本パッケージ Ver.10.0 以降のリリース方針について

Windows 10/11に対する弊社製品の今後の対応につきましては、Microsoftのポリシー変更にあわせ、「Build」対応へ移行しております。



今後、Microsoftより新規に提供されるBuildに順次対応していく予定ですが、対応するまでは弊社ソフトウェアが正常に動作しなくなる可能性がございます。
新規Buildの適用 及び 新規Buildが適用されたPCへのインストールにつきましては、ご注意ください。

- **注意！**
  - 動作確認対象製品でも、Windows 10/11上で一部利用できない可能性があります。
    すべての環境での動作を保証するものではございません。
  - 新規Buildを適用される場合は、一旦FSSをアンインストールいただき新規Build適用後に、適用Build対応版FSSのインストールを行ってください。

追加・更新された主な機能の紹介

（Ver.10.2 から追加になったオプション製品と機能）

所有者パスワード最低桁数指定機能

認証キーの所有者パスワードの最低桁数を指定出来るようになりました。

従来は、認証キーの所有者パスワード最低桁数は 8桁固定で変更する事が出来ませんでした。
本バージョンから、8～16桁の間で管理者が最低桁数を設定を変更できるようになります。
「FSS KeyService」の設定ファイルから、設定変更が可能です。

- 本機能は、端末単位(インストーラー単位)に適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」 Ver.10-6-5 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)

※[20A1]エラーは、新規パスワード長が規定より短い場合に表示されます。

- **注意！**
  - 本設定を行っても、認証キー内の所有者パスワードは自動で更新されません。
    次回、所有者パスワード変更時から有効になります。
  - 認証キー発行時には、本設定は適用されません。
  - 所有者パスワード固定運用の場合には、認証キー内所有者パスワード更新後「SmartLogon Manager」側の設定変更必要になります。
  - 「FSS KeyService」を更新する場合には、インストール済のFSS各アプリケーションについても同時にバージョンアップしてください。
    一部のみアップデートした場合、予期せぬ動作をする恐れがあります。

認証時のメッセージ統一(秘匿)オプション

認証時のメッセージを制限することで攻撃者に情報を渡さないオプションが追加されました。

FSSでの認証時に認証に失敗した場合に表示される様々なメッセージを統一(秘匿)することで、
攻撃者に対して認証に失敗している原因について情報を渡さない機能が追加されました。

利用者も失敗理由が分からなくなるため、認証キーがロックする可能性等が高くなり、利便性が失われてしまいますが
重要端末やセキュリティポリシー上必要な場合にご使用頂けます。

また、FSS認証失敗の詳細につきましては、FSSログよりご確認頂けます。

※全てのメッセージは「認証に失敗しました。」に置き換わります。

- 本機能は、インストール端末すべてに適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」 Ver.10-6-5 以上
  「FSS SmartLogon PCIDSS」 Ver.8-6-1 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)

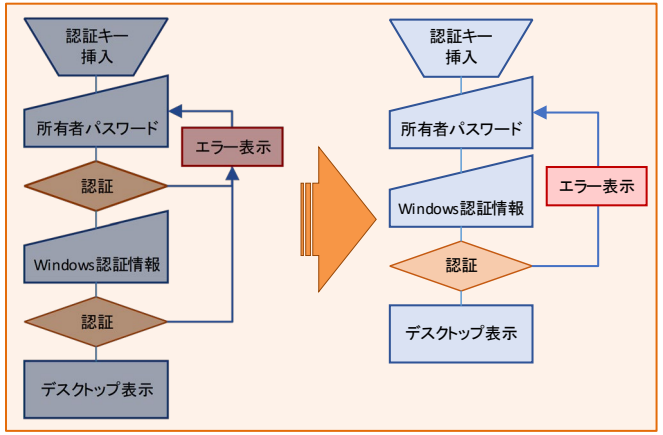
- **注意！**
  - このオプション機能は、標準の「FSS SmartLogon」には含まれていません。
    オプション機能をご使用になる場合には、「SLogon」ではなく「SLogonPCIDSS」(標準でインストーラーに含まれています)をインストールしてください。
    FssPack.iniで初期設定の変更が可能です。
  - 非連動設定でこのオプションを使用した場合、所有者パスワード入力画面では所有者パスワードのチェック処理を行わない為（Windows認証情報とまとめて最後にチェック処理を行う為）、どんな値を入力してもWindows認証情報入力画面に遷移します。
  - このオプション機能を使用すると、認証時のメッセージはすべて統一される為、認証が失敗する事由についてメッセージからは特定が出来なくなります。
    利用者が誤って所有者パスワードを6回以上間違えて認証キーがロックしたとしても、利用者は所有者パスワードを間違えていることも、6回連続間違えて認証キーがロックした事も判断することが出きません。
    そのため、運用上、管理者の負担が増える可能性があります。

認証時のフロー変更オプション

認証時のフローを変更する事で、攻撃者に対して情報を渡さないオプションが追加されました。

「FSS SmartLogon」で非連動設定時は、通常認証キーの認証後にWindowsの認証画面が表示されますが
この場合、攻撃者に対して認証キーとWindowsの認証それぞれに対して、成功・失敗の情報が漏れる可能性があります。

そのため、元々 2要素認証ではありますが、非連動設定時は2段階認証型式だった物を
認証キーの認証と、Windowsの認証をまとめて行う認証方式のオプションが追加されました。
(認証キーは6回連続でパスワードを間違えるとロックするため、6回以上の攻撃は行うことができません。)



- 本機能は、インストール端末すべてに適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」 Ver.10-6-5 以上
  「FSS SmartLogon PCIDSS」 Ver.8-6-1 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)

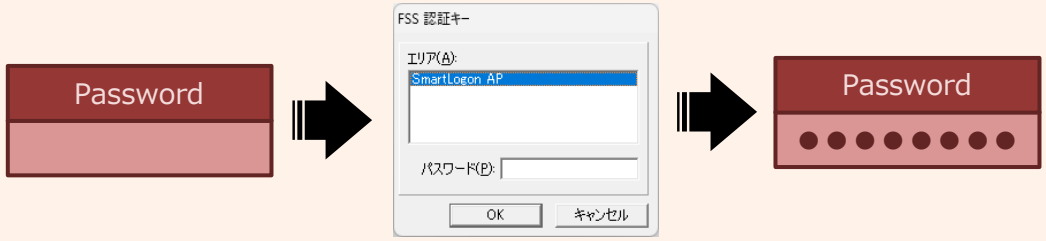
- **注意！**
  - このオプション機能は、標準の「FSS SmartLogon」には含まれていません。
    オプション機能をご使用になる場合には、「SLogon」ではなく「SLogonPCIDSS」(標準でインストーラーに含まれています)をインストールしてください。
    FssPack.iniで初期設定の変更が可能です。
  - 非連動設定でこのオプションを使用した場合、所有者パスワード入力画面では所有者パスワードのチェック処理を行わない為（Windows認証情報とまとめて最後にチェック処理を行う為）、どんな値を入力してもWindows認証情報入力画面に遷移します。
  - このオプション機能を使用すると、認証時のメッセージはすべて統一される為、認証が失敗する事由についてメッセージからは特定が出来なくなります。
    利用者が誤って所有者パスワードを6回以上間違えて認証キーがロックしたとしても、利用者は所有者パスワードを間違えていることも、6回連続間違えて認証キーがロックした事も判断することが出きません。
    そのため、運用上、管理者の負担が増える可能性があります。

シングルサインオン時の再認証要求機能

ID/PWの自動入力前に、所有者の再認証を行う機能が追加になりました。

お客様からのご要望を受け、シングルサインオン時に認証キーの再認証を要求する機能を追加しました。
これにより、認証キーを抜き忘れて席を離れることがあったとしても、本人になりすまして不正にシステムにログインされることを防止できます。
この機能は、認証キーを取り外さない運用を推奨するための機能ではありません。
席を離れる場合には、従来通り認証キーを取り外して端末のロックをおこなってください。

- 本機能は、端末単位(インストーラー単位)に適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」　　Ver.10-6-5 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)



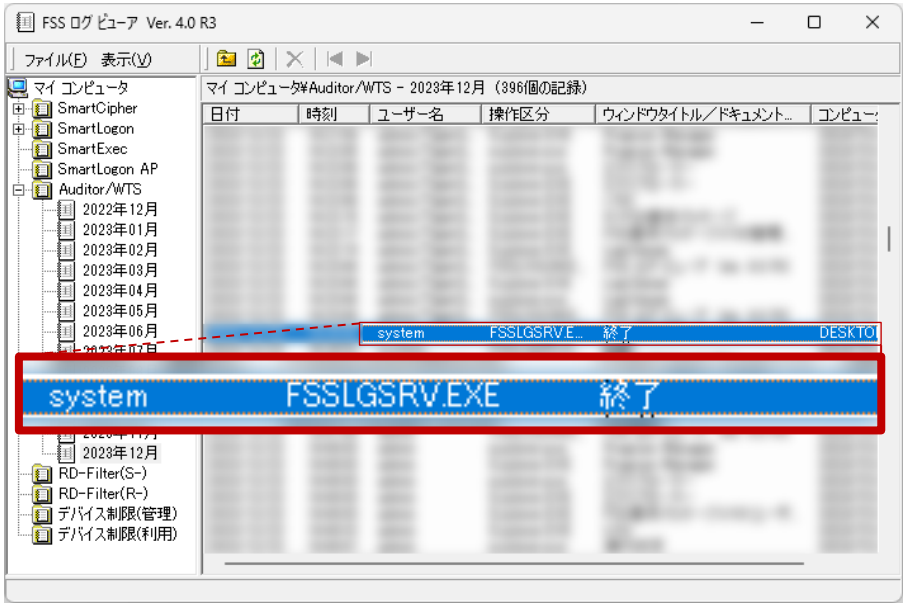
- **注意！**
  - 本機能は、「FSS SmartLogon」のアプリケーションログオン機能 以外に、「FSS AppLogon」/「FSS SmartLogon AP」でも機能します。
  - 所有者パスワード固定運用時でも自動入力はされない為、所有者パスワード固定運用との併用はできません。
  - FSS認証画面 パスワード入力欄にフォーカスが当たらない場合があります。その場合は、パスワード入力欄をクリックしてフォーカスを合わせてください。
  - アプリケーションログオン設定情報については、「アプリケーションログオン情報の設定」ツールから確認することが出来る為、「FSS SmartLogon AP」でのご使用が前提となります。

FSSログサービスの終了検知機能

FSSのログサービスについてステータス変化時のログを取得する機能が追加されました。

FSSログサービス(FSS Log Service)の停止/開始のログを取得する機能が追加されました。
対象ログは、Auditorログに記録されます。

- 本機能は、インストール端末すべてに適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」 Ver.10-6-5 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)



- **注意！**
  - 対象ログは、「FSS Auditor」ログに記録されます。
    オプションソフトウェア「FSS Auditor」を購入していなくても、本機能はご使用頂けます。(対象ログは記録されます。)
  - 手動による起動/終了以外に、端末の再起動等によるサービスの終了/起動も記録されます。
    ただし、シャットダウン 及び シャットダウンからの起動時についてはログが記録されませんのでご注意ください。

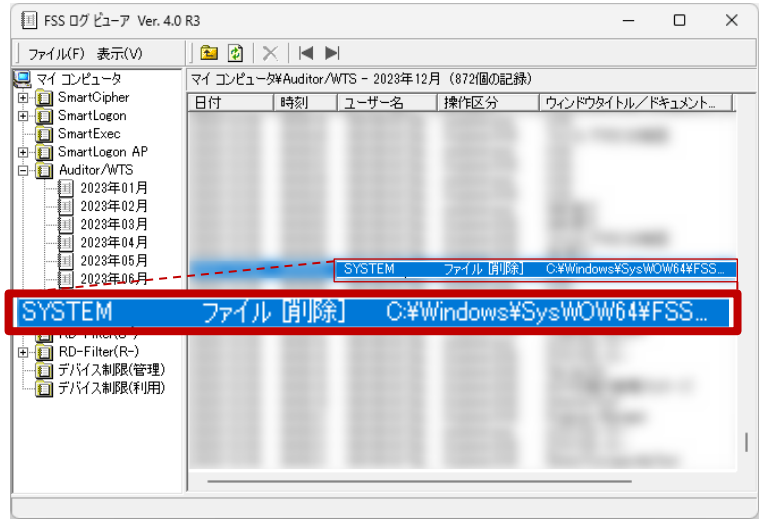
FSSログファイルの削除検知機能（FSS Auditor）

FSSのログファイル削除について、除外設定している場合でもログを取得できるようになりました。

FSSログファイルは、改ざん防止の為暗号化して記録されますが、
Windows上の管理者権限があればログファイルを削除することは可能です。

従来より、ファイル操作ログによりFSSログファイルの削除を検知することは可能でしたが、ファイル操作ログが大量に溜まることを抑制する為の除外設定により
FSSログファイルの削除が検知できなくなる恐れがありました。

「拡張子"log"をファイル操作ログから除外する」等のファイル操作ログの除外設定を追加したとしても、
FSSログファイルについてはそれらの設定から対象外になるよう今回設定が追加されました。
これにより、ファイル操作ログの容量を抑えながら、必要なログを記録できるようになります。



- 本機能は、端末単位(インストーラー単位)に適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS KeyService」 Ver.10-6-5 以上
  「FSS Auditor」 Ver.2-6-1 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.2 以上)

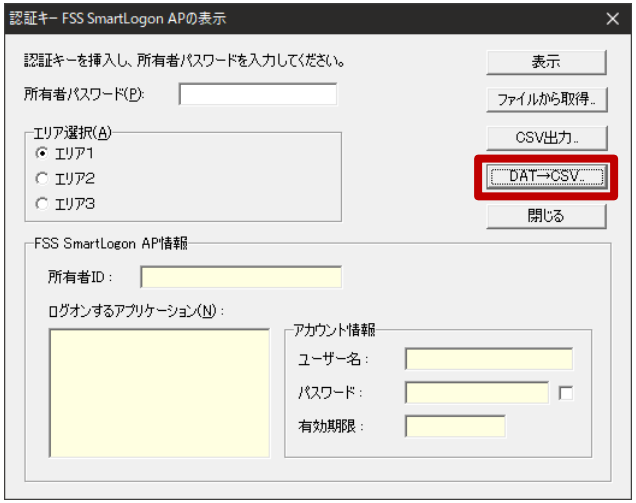
- **注意！**
  - 削除ログを記録するには、オプションソフトウェア「FSS Auditor」が必要です。
    また、「FSS Auditorフィルター設定ツール」で[ファイル操作ログを取得する]設定が必要になります。
  - 対象ログは、「FSS Auditor」ログに記録されます。
  - 「FSS Auditor」設定ファイルにより、取得の設定ができます。

FSS SmartLogon AP 情報ファイルCSV出力機能

認証キーに発行する情報ファイルをまとめてCSVに出力する機能が追加されました。

従来は、発行済みの認証キーからしか設定情報を確認することが出来ませんでしたが、
お客様からのご要望を受け、今回「FSS SmartLogon AP情報ファイル(所有者ID.dat)」からも情報を確認出来る機能を
「FSS SmartLogon AP Manager」に追加しました。
これにより、特定フォルダー内の「FSS SmartLogon AP情報ファイル(所有者ID.dat)」をまとめてCSVファイルに出力できるようになります。
アカウント情報の棚卸しや見直し等にお役立てください。

- 本機能は、インストール端末すべてに適用されます。
- 使用するには、最低次のソフトウェアが必要です。
  「FSS SmartLogon AP Manager」　Ver.3-2-1 以上
  (FSS基本パッケージ Ver.10.1 以上)



- **注意！**
  - 認証キーに発行されている情報ではなく、発行情報を直接確認します。
    そのため、認証キーに発行されていない場合や、発行後に別ファイルで更新されている場合等には、想定されている内容と動作が異なる可能性がありますので、ご注意ください。

販売終了製品（ソフトウェア）について

販売終了になったオプションソフトウェアについて

（ 2023/12/20 現在）

No.	販売終了ソフトウェア	備　考
1	P-Lock	2014年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2017年03月末」で終了しております。
2	FSS DesktopShield	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
3	FSS SmartProxy Clilent	2016年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2019年03月末」で終了しております。
4	FSS SmartProxy Server	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
5	FSS SmartWTS	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。
6	FSS RemovableDisk Cipher	2015年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2018年03月末」で終了しております。 また、保守ご加入のユーザー様は、無償で「FSS SmartLogon RD」へ移行が可能です。 ※自動移行ではない為、ユーザー様からのご依頼が必要になります。
7	FSS ED-S Logon	2016年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2019年03月末」で終了しております。
8	FSS SmartEFD	2017年 03月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2020年03月末」で終了しております。
9	FSS VPNConnect	2019年09月末 販売終了 保守ご加入ユーザー様へのサポート(※1)は、「2022年09月末」で終了しております。
10	FSS基本パッケージ（個人情報漏えい保険付き）	2020年09月末 販売終了 保険提供は、2020年09月時点の加入保守期間を最後に終了しております。
11	マイナンバーパッケージ（個人情報漏えい保険付き）	2020年09月末 販売終了 保険提供は、2020年09月時点の加入保守期間を最後に終了しております。
12	マイナンバーパッケージ	2023年01月末 販売終了 追加・更新は終了となりますが、既存ユーザー様向けの保守は継続して販売中です。

(※1) バージョンアップの提供(瑕疵等によるプログラムの改修を含む) を除く、問い合わせ時の対応のみとなります。

販売終了製品（ハードウェア）について ①

販売終了になったハードウェアについて

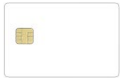
（ 2023/12/20 現在）

No.	販売終了ハードウェア	備　考
1	ICカードR/W　USB型 (SCR331/SCR3310)  	供給元製造終了により、販売終了となっております。
2	ICカードR/W　PCMCIA型 (SCR243) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
3	ICカードR/W　SIMサイズカード型 (SCR3320) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。 SIM型後継機種につきましては、現在選定中です。決まり次第弊社ホームページでご案内いたします。
4	ICカードR/W　SIMサイズカード型 (SCR38T-D1) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。 SIM型後継機種につきましては、現在選定中です。決まり次第弊社ホームページでご案内いたします。
5	ICカードR/W　ExpressCard/54型 (SCR3340) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
6	ICカードR/W　USB型 (ACR38U-I1/ACR38U-IPC) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。
7	ICカードR/W　USB型 (ACR38U-I1LALA112C) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。 詳細は、https://www.lis-fss.co.jp/support/170703.html をご参照ください。
8	ICカードR/W　USB型 (ACR39U-U1LALA003M) 	供給元製造終了により、販売終了となっております。 詳細は、https://www.lis-fss.co.jp/support/210423-1.html をご参照ください。

販売終了製品（ハードウェア）について ②

販売終了になったハードウェアについて

（ 2023/12/20 現在）

No.	販売終了ハードウェア		備　考
9	USBトークン型 (IDProtectKey nano)		供給元製造終了により、 弊社在庫がなくなり次第の販売終了を予定しております。
10	ICカード プレ印刷タイプ (接触ICカード)		2016年 9月末で 販売終了となっております。 同デザインをご希望の場合には、別途券面印刷をご注文頂きますようお願いいたします。
11	ICカード ホワイト [K4以外] (接触ICカード)		製品切替の為、2022年12月末で販売を終了となっております。 詳細は、https://www.lis-fss.co.jp/support/221223.html をご参照ください。
12	指静脈認証ユニット (FVA-U2SX / FVA-U2SXA)		供給元製造終了により、 弊社在庫がなくなり次第の販売終了を予定しております。

- 指静脈認証ユニット**「FVA-U3SX」** 及び **「FVA-U4ST」**につきまして
  販売終了製品に掲載しておりましたが、供給元より生産再開について案内がございましたので、今回よりリストから削除しております。